

# 1. 県内への情報発信の継続：普天間飛行場跡地利用パネル展の開催

- サンエー那覇メインプレイス：3日間で182名来場し、アンケート回答は98名
  - 県庁ロビー：5日間で157名来場し、アンケート回答は69名
  - アンケート結果・・・跡地利用の取組：約8割の評価、パネル展の満足度：約8割
- ⇒来場者を増やす工夫(周知・PR、場所・時期・期間、内容の工夫・充実等)などを継続的に検討

## ①会場及び開催期間

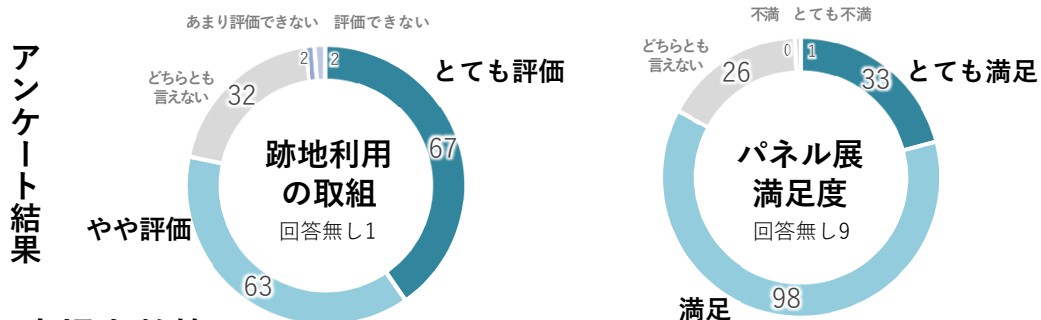
- ✓ 商業施設(サンエー那覇メインプレイス)1/19(金)~21(日)3日間
- ✓ 公共施設(沖縄県庁1階県民ホール)1/22(月)~26(金)5日間

## ②展示内容

- ✓ 中間取りまとめ(第2回)の紹介パネル(大人向け、子供向け各10枚)

## ③来場者アンケート(会場・WEB)

- ✓ 跡地利用の取組,パネル展の満足度,今後の情報発信,常設スペース等



## ■来場者数等

開催場所	サンエー那覇メインプレイス 3階エントランス				沖縄県庁 1階県民ホール					合計	
	1/19	1/20	1/21	計	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26		計
開催日	1/19 金	1/20 土	1/21 日	計	1/22 月	1/23 火	1/24 水※2	1/25 木	1/26 金	計	合計
来場者数※1	50人	50人	82人	182人	29人	34人	37人	31人	26人	157人	339人
アンケート回収数	24人	27人	44人	95人 WEB3人	19人	13人	17人	7人	7人	63人 WEB6人	167人
回収率	48.0%	54.0%	53.7%	52.2%	65.5%	41.2%	45.9%	22.6%	26.9%	40.1%	49.3%

※1：来場者数は、チラシ配布数でカウント ※2：午後のみ開催

## ■パネル展チラシ



## ■開催状況



## ■開催の周知

HP：沖縄県・宜野湾市・(株)サンエー  
 新聞：県民サロン ラジオ：ラジオ県民室  
 SNS：X(旧Twitter)

<参考>令和3年度

サンエー那覇メインプレイス 3階エントランス		
12/4	12/5	計
78人	160人	238人
44人	56人	100人
56.4%	35.0%	42.0%

# 1. 県内への情報発信の継続：普天間飛行場跡地利用パネル展の開催

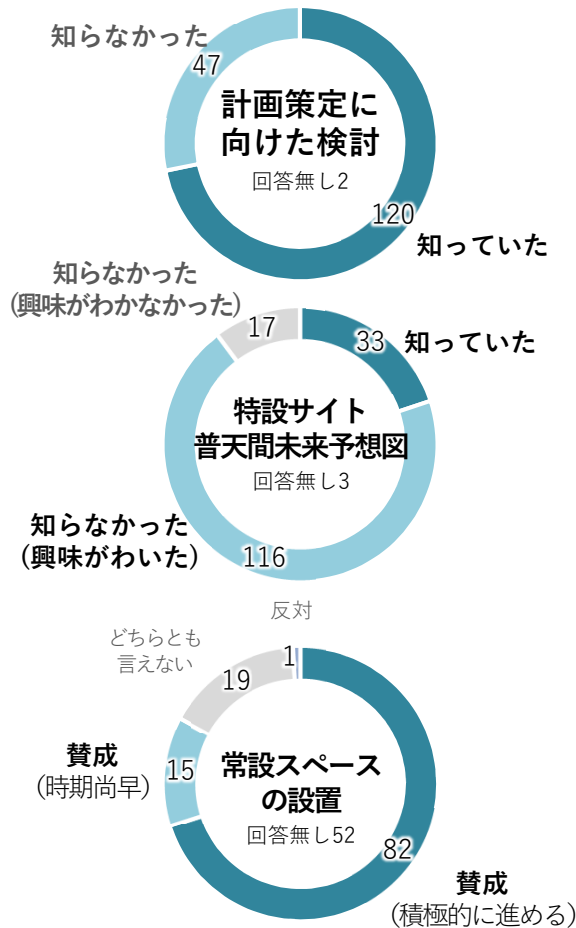
- 普天間未来予想図：知らなかった（興味がわいた）が最多 ⇒ サイトのコンテンツの充実
- 今後の情報発信イベント：3パネル展、1講演会が多かった ⇒ パネル展、講演会等を中心に継続して取り組む
- 常設スペースの情報提供方法：VRが最多 ⇒ VRなどデジタルコンテンツの拡充を検討。

## アンケート結果（速報版）概要

### ■回答者の属性

性別	男性	99
	女性	68
	その他	2
年代	10代	6
	20代	11
	30代	21
	40代	35
	50代	50
	60代	25
	70代	15
	80代以上	5
お住まい	①那覇市	91
	②浦添市	20
	③宜野湾市	18
	④北谷町	2
	⑤中城村	1
	⑥北中城村	4
	⑦沖縄市	5
	⑧上記以外の県内	23
	⑨県外	3
		⑧名護市5/西原町4/糸満市3 豊見城市3/南城市3/国頭村1 うるま市1/南風原町1

### ■主な集計結果



常設スペースでの情報提供方法  
VR等50/質問・相談27/参加型の講座10/クイズ等9

### 普天間飛行場跡地がどんなまちになったらよいと思いますか？(3つまで選択)

①自然があふれる緑のなかのまち	77
②環境に配慮したまち	64
③歴史・文化がみえるまち	65
④企業や先端産業が集まるまち	29
⑤県民・観光客が楽しめるまち	56
⑥世界中の人と交流できるまち	27
⑦生活利便性の高いまち	67
⑧公共交通が充実したまち	54
⑨災害に強いまち	31
⑩その他	8

⑩平和を発信するまち/歩道=小、車=小、自転車・バイク道必要。路肩に整備。/学術/歩いて楽しいまちづくり/住みやすい/むかしにもどる/自動運転車のまち/どちらでもない

### 今後どのような情報発信イベントがあれば参加したいと思いますか？(3つまで選択)

①講演会	46
②討論会 (ディスカッション)	22
③パネル展示会	64
④学習・体験講座(ワークショップ)	39
⑤跡地利用の提案コンペ (提案者)	12
⑥跡地利用の提案コンペ (視聴者)	31
⑦その他	5

⑦これまでの歴史や今後のビジョンを伝える試写会(映像) 県民アンケート/跡地利用/オンライン/現地歩き

## 2. 跡地利用に係る教育と連携方法の検討

2022年から本格的スタートした、高等学校の“探究的な学び(※)”において「普天間飛行場跡地利用(まちづくり)」が探究テーマに選ばれるような取組みを検討。

(※)探究の学びとは、自分なりに問いを立て、情報を集めて分析して、まとめ発表する一連の流れを行うこと

### ○令和5年度実施内容

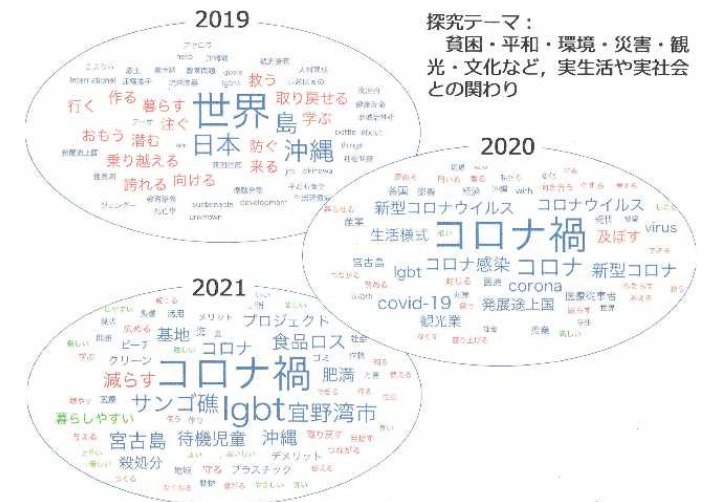
- 有識者（大学・法人）にヒアリング、意見交換を実施し、探究テーマの課題整理。
- ✓ 琉球大学教育学部 濱田 栄作 教授  
※沖縄未来社会創生シンポジウム（県内高校生が探究成果を発表）
- ✓ 株式会社rokuyou 下向 依梨 代表取締役、白石 綾 ラーニングクリエイター  
※地域課題に向き合う「マイプロジェクト×SDGs」で新しいかたちの総合的探求の時間をコーディネート（宜野湾高校等）

### <探究テーマの選ばれ方>

- 1) 実生活や実社会に関りがあるなど、社会に開かれた教育内容
- 2) 地域との繋がりがあもの
- 3) 学校、生徒が興味・関心を持つもの、過度に負担がないもの

### <今後の取組み：探究テーマとしての検討>

- 1) 最初に探究テーマを決める段階（4～5月頃）での教材等（ワークシート・進行資料、アイデア集の応募など）の提供。
- 2) 地域との連携づくりのサポート  
→ フィールドワークで地域と繋がることで「生徒・学校」と「地域」それぞれWinWinになることを目指せるよう、マッチング・コーディネートなどのサポート
- 3) フィールドワーク後のフォロー（内容のブラッシュアップ）
- 4) シンポジウムなどの発表・討論、講評、奨励賞の場づくり・サポート



**Okina Future Society Initiative Symposium**  
**沖縄未来社会創生シンポジウム**

主催：琉球大学  
共催：沖縄県教育委員会

実行委員会：

委員長	杉尾 幸司	大学院教育学研究科 教授
委員	伊野波 盛人	沖縄県教育庁 指導主事
	小野寺 清光	教育学部 教授
	石川 隆士	国際地域創造学部 教授
	福本 晃造	教育学部 准教授
	齊藤 山紀子	教育学部 准教授
	城間 吉貴	教育学部 講師
	中村 元紀	球陽高等学校 教諭
事務局	濱田 栄作	教育学部 教授

	発表校	発表件数
2019（※スタート）	4	24
2020（ワゲメント）	7	121
2021（ワゲメント）	11	227
2022（口頭・ワゲメント）	6	296
2023（口頭）	3	6

## 2. 跡地利用に係る教育と連携方法の検討 ※宜野湾市の取組み事例

- 大学とのコラボ企画：2カ月間の講義・グループ学習・フィールドワークの成果を発表
- 発表会…一般参加のもと、2年生・4グループ毎に提案発表し、まちづくり専門の大学講師にて講評
- 学生アンケート結果…ほぼ全員がまちづくりの知識・関心が高まり、授業満足度は約9割  
⇒今回、初めての取組みだったが、多くの評価をいただき、次年度以降継続的に取組む予定。

沖縄国際大学×宜野湾市まちづくり講座コラボ企画 2023

沖縄国際大学生が考える  
普天間飛行場の跡地利用を見据えた周辺のまちづくり

# 企画提案発表会

私たち沖縄国際大学生は普天間飛行場の跡地利用を見据え、周辺市街地における身近なまちづくりを考えることをテーマに、2か月にわたり演習授業を通じてグループ毎にまちづくりの企画を考えてきました。未来のまちづくりに向けた冲国大生の企画提案を発表しますので、ぜひお越しください！

**2023年 12月7日 木曜日**  
14時00分～17時00分 (13時40分開場)

**会場** 沖縄コンベンションセンター 会議棟B (B5～B7)

参加無料 / どなたでも参加OK / 事前申込不要

**『ゲストスピーカー』**  
宋俊煥氏  
山ロ大学 大学院創成科学研究科 工学系学域 感性デザイン分野 建築学専攻 准教授  
専門はアーバンデザイン・エリアマネジメント・低炭素利用地活用など、2016年より山ロ県庁市の中心市街地において公共空間を利活用した地域活性化に携わり、現在「若者クリエイティブプラン」(学割)「起業家を始め、さらに他都市においても公共空間を活用した数多くのプロジェクトに携わる。

**『ナビゲーター』**  
堀江佑典氏  
昭和株式会社 企画部 営業開発室 室長

**『プログラム』**  
第1部 14:00-16:00  
学生の「まちづくり企画提案」発表 (4グループ)  
～休憩～  
第2部 16:10-17:00  
「若者が地域に関わるまちづくり」  
ゲストスピーカー 山ロ大学 宋准教授  
ナビゲーター 堀江 佑典

※後日、当日の様子を宜野湾市HPで公開します。

(主催) 宜野湾市 まち未来課・(問い合わせ) 昭和株式会社 担当: 河村・新藤 tel. 098-876-5107

■令和5年度…沖縄国際大学コラボ：講義/グループ学習/フィールドワークの概要スケジュール

日時	内容
10/3 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□宜野湾市を知ろう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 宜野湾市のまちづくりの現状</li> <li>✓ 宜野湾市のまちづくりの課題</li> </ul> </li> <li>□グループ分けと宿題 (テーマ決め) の提示</li> </ul>
10/17 (火) 2クラス合同で実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>□初回 (ガイダンス)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 主旨説明</li> <li>✓ 普天間飛行場跡地のまちづくりの紹介 (宜野湾市まち未来課より)</li> <li>✓ 演習の内容と進め方説明 (昭和 榎 河村)</li> <li>✓ まちづくりと大学生の取組み (山ロ大学 宋 俊煥 准教授 オンライン) グループ内でテーマ検討</li> </ul> </li> </ul>
10/24 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□グループワーク                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ テーマと想定するアウトプットの設定</li> <li>✓ 実施計画の作成</li> </ul> </li> <li>□検討結果の共有</li> </ul>
10/31 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□グループワーク                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 資料収集・調査</li> <li>✓ フィールドワークに向けた準備</li> </ul> </li> <li>□検討状況の共有</li> </ul>
11/7 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□グループワーク                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 資料収集・調査</li> <li>✓ フィールドワークに向けた準備</li> </ul> </li> <li>□検討状況の共有</li> </ul>
11/14 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□フィールドワーク                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 宜野湾市市街地内におけるフィールドワーク</li> <li>✓ 候補地は各グループの選択するテーマによる (ex. 伊佐区自治会[ふんしんせせらぎ通り等での活動]、普天間宮、商店街 等)</li> </ul> </li> </ul>
11/21 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□グループワーク                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ とりまとめ・発表準備</li> </ul> </li> <li>□検討状況の共有</li> </ul>
12/7 (木) @発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 主旨説明 5 [分]</li> <li>□ 学生による発表 (一般公開) 120 [分]</li> <li>□ 外部講師による講評 20 [分]</li> <li>□ 外部講師による講演 30 [分]</li> <li>□ (山ロ大学 宋 俊煥 准教授 現地参加)</li> </ul>



## 2. 跡地利用に係る教育と連携方法の検討

※宜野湾市の取組み事例

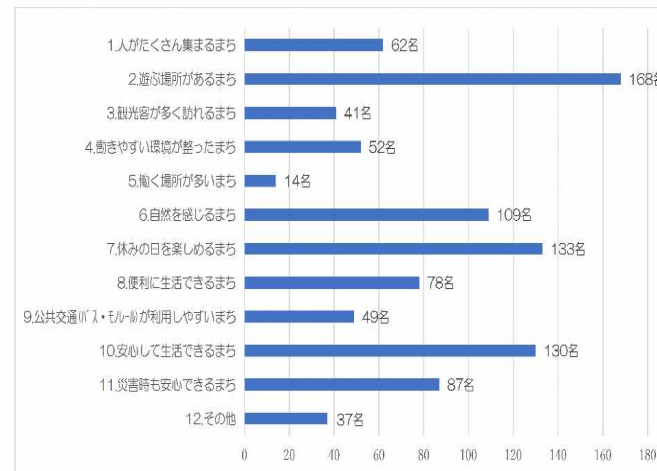
- 小学生向けの出前講座 地域資源や跡地利用の説明、クイズ形式、イラスト作成・発表。
  - 授業参加日に行い、親子参加・交流も促しながら世代間・家族間で関心・興味を持ってもらう
  - アンケート結果・・・ほぼ全員がまちづくりの知識・関心が高まり、授業満足度は約9割。
  - パネル展開催・・・はごろも祭り会場で実施。今後、市民図書館で予定。
- ⇒今回2年目で学年・学校数を増やし、全体的に評価をいただき、次年度以降継続的に取り組む予定。



令和5年9月21日沖縄タイムス紙面17(地域)

	日	時間	開催校	学年	クラス
第1回	6月29日 (木)	9時35分～ 11時20分	普天間第二小学校	3	3
第2回	9月15日 (金)	9時10分～ 10時55分	大山小学校	6	3
第3回	10月17日 (火)	9時10分～ 10時55分	大山小学校	5	3
第4回	11月24日 (金)	8時35分～ 12時10分	志真志小学校	6	4

問3. 普天間飛行場が返還されたあとにできるまちはどんなまちがいいですか？  
(3つまで選択できます)



小学生イラスト展示のようす



パネル展当日のようす



アンケートのようす

はごろも祭り会場でのパネル展示

## 2. 跡地利用に係る教育と連携方法の検討【参考】 ※将来的な検討

将来まちづくりに関わる次世代層を幅広く育て・応援する場のプラットフォームづくりの仮想イメージ

①普天間飛行場が、将来の自分たちの成長につながる大きな可能性を秘めた場所であることを知る。

②普天間飛行場の跡地（プロジェクト・整備後のまち）で、自分たちでできることを考え、そこにつながる活動(計画実現への寄与・世界への情報発信等)をする。

普天間飛行場周辺の  
様々な組織との協働

取組のプラットフォーム（イメージです）

